

アジア政経学会 2011年度第1回理事会 議事録

1. 日時 2011年4月9日(土) 15:00~18:20
2. 会場 東京大学東洋文化研究所 3階・第1会議室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 13名(浅野、家近、大橋、梶谷、金子、澤田、園田、高橋、高原、竹中、谷垣、田村、丸川)
5. 委任状提出 7名(加藤、巖、高、佐藤、玉田、松田)
6. 出席者合計 20名
7. 議長 高原明生
8. 議事

(ア) 15時00分に高原理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・園田理事より本日の出席者が20名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として園田氏、金子氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2010年12月4日)理事会議事録の確認を行った。

議案1 2011年度活動計画案とその承認

園田理事(総務担当)より、2011年度の活動計画案をもとに報告が行われ、これを承認した。

議案2 2010年度決算報告とその承認

梶谷理事(財務担当)より、報告が行われ、審議の結果、これを承認した。

議案3 2011年度予算案とその承認

梶谷理事(財務担当)より、報告・説明がなされ、審議の結果、これを承認した。

議案4 公益法人制度改革について

高橋理事(公益法人制度改革担当)、田村理事(公益法人制度改革担当)、澤田理事(公益法人制度改革タスクフォース)より、財団法人から公益法人への移行にあたり、2011年1月25日に高原理事長、金子理事(副理事長)、梶谷理事(財務担当)、高橋理事(公益法人制度改革担当)、澤田理事が公認会計事務所・タックスアイズに出向き、契約・調印を行った事が報告された。また、今後の移行プロセスおよびそのタイミングについて意見交換がなされた。

- 議案 5 東日本大会（獨協大学）の開催について
金子理事（副議長）より、東日本大地震の関係で準備が遅れ気味であることが報告された。竹中理事（研究企画委員会主任）より、テーマとプログラムの報告・説明がなされた。
- 議案 6 西日本大会（九州大学）の開催について
田村理事及び竹中理事（研究企画委員会主任）より、大会企画、テーマとプログラムの説明および報告がなされた。
- 議案 7 全国大会（同志社大学）の開催について
浅野理事（開催校担当）より、会場となる場所の説明がされ、今後は会場設定などの交渉に入ることが報告された。谷垣理事より、大会運営マニュアルの改善について報告があった。
- 議案 8 『アジア研究』の編集状況について
大橋理事（編集担当）より、『アジア研究』第56巻第4号（2010年10月）、『アジア研究』第57巻第1号（2011年1月）の掲載予定が報告された。高原理事長より、今後も引き続き論文の投稿を積極的に働きかけることが提案された。『アジア研究』バックナンバー在庫調整について説明がされ、大橋理事に一任することが承認された。
- 議案 9 ホームページの運営について
澤田理事（広報担当）より、ホームページ保守費用の半期ごとの見積りを取ったことが報告・説明がなされ、承認された。チェック機能つき告知板を立ち上げたことが報告された。
- 議案 10 ニュースレターの編集について
丸川理事（ニュースレター担当）より、ニュースレター35号は刊行済みであることが報告され、36号も9月刊行の予定であることが報告された。
- 議案 11 第4回定例研究会の実施状況について
金子理事（副理事長）より、第4回定例研究会が2011年4月9日（土）東京大学（本郷キャンパス）東洋文化研究所3階・第一会議室にて13時30分から開催され、学会理事、一般会員を前に1名の報告があったことが報告された。

報告者：横本真千子（北海道大学大学院経済学研究科）

題 目：インドネシアの女性家事使用人ーバンドンの仲介者を例として

コメンター：田村慶子（九州市立大学）

議案 12 役員改選の日程について

園田理事（総務担当）より、2011年度役員改選日程（案）、及びお茶の水学術事業会からの評議員選挙にかかる経費についての報告に関する説明があり、承認された。

議案 13 名簿作成について

園田理事（総務担当）より、名簿作製の手順、個人情報取り扱いおよびお茶の水学術事業会からの名簿作製にかかる経費について報告・説明があり、承認された。

議案 14 お茶の水学術事業会との再契約について

園田理事（総務担当）より、学会事務代行業務（2011年4月1日～2012年3月31日）の経費について報告・説明がなされ、再契約することが承認された。

議題 15 日本現代中国学会からの申し入れについて

園田理事（総務担当）より、日本現代中国学会理事長から全国大会開催日程について書面での申し入れがあったことが報告され、今後は両学会で日程調整をすることが承認された。

議題 16 入退会者について

園田理事（総務担当）より、入会申請者11名、再入会申請者なし、退会者32名、逝去なし、休会者4名、優待申請者4名の報告がされた。高原理事長より今後も入会者を増やす努力をすることが提案された。

<新入会> 田村祐子、李晶、穆堯芊、サヤボン・シテサイ、古賀章一、袁麗暉、徐滄、坂井美穂、櫻井宏明、岡部正義、西館崇

<再入会> 報告なし

<退会> 坂本俊彦、吉宗宏、曾田三郎、西川吉満、山元菜々、松木隆、貴志俊彦、石澤良昭、高木暢之、戸崎肇、鳥居泰彦、湯浅誠、槻木瑞生、福井清一、Ye Kyaw Aung、山本忠士、鯉淵信一、安田信之、金炫成、郭永興、山本真弓、遠藤義雄、森本光彦、小池賢治、武貞秀士、久保彰宏、熊倉修、淵本康方、四月朔日良秀、辻井博、今井理之、夏剛

<逝去>報告なし

<休会>中井明、李継偉、朱いい、楯沢英雄、

<優待申請者>下村恭民、間苧谷榮、初瀬龍平、新見道子

議案 17 4年滞納の会員の扱いについて

梶谷理事（会計担当）から、4年滞納した場合には自動的に会員資格を失うとされているが、今回のケースに限っては、震災にあった東北地域の会員について別途方策を講じた方がよい旨提案がなされ、了承された。

次回理事会は2011年5月21日（土）午後12時30分から獨協大学において開催予定。

以 上

高原理事長が午後6時20分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録著名人は次の通り署名、押印する。

平成23年4月9日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明 生



議事録著名人

金子 芳 樹



議事録著名人

園 田 茂 人

